

提案

日付：2023/06/11

件名：寒川町の学校給食の「こだわり」

1. 問題、課題

寒川町の学校給食の「こだわり」は何でしょうか？

近年、いろんな地域で学校給食を見直しているようです。

近場ですと、鎌倉市。鎌倉市の市長さんは、以前木村町長にも参加をお願いした「オーガニック給食フォーラム」に参加されていて、6/7にオーガニック食材を使った給食を小学校4校で提供されたそうです。次回は12月だそうです。

有機食材は全部は無理でも、少しだけでも実現できたら、成長期の子供達の健康や自分達が食べているものが健康に繋がることを勉強出来るので、鎌倉市素晴らしいと思います。すごく羨ましいです。

市民のオーガニック給食への声を、真摯に聞いて行動してくれた鎌倉市長さんの行動が本当に子供達の事を考えてくれているのだなと感じます。

他には、給食費無償化！！給食費無償化を行っている！76の自治体。第3子からは無償化の自治体が91カ所。兄弟割があってもよいな…と個人的に思います。

いろんな地域で、給食へのこだわりが強まっています。

せっかく給食センターが出来るので、寒川町でも、オーガニック給食や給食無償化のような、一部ではなく多くの保護者や子供達の意見を聞いて、「学校給食のこだわり」を作ってみてはどうですか？

給食センターの情報が少なくよくわからないので、小中学生の保護者として、給食センターがスタートするのに現在良かったと思う事は中学校給食始まるんだ……お弁当作らなくて助かる！くらいです。中学校給食が無いというと、ビックリされる時代ですが。

どうせなら、いいなー！！って思われる自慢出来る給食だと嬉しいです。

2. 改善案

いろんな人が、寒川町の給食ってこうなんだよ！！ってわかる「こだわり」を、周知する。子供達もわかるように。

鎌倉市や、有機給食のいすみ市のように、他地域の人達も良いな！！と思える給食にする。

3. 改善後の効果

寒川町の魅力・寒川町の小中学校の魅力アップ。
寒川町の食育に興味を持ってもらえるかも。

回答

<寒川町の学校給食の「こだわり」>

【所管：教育施設給食課】

日頃より、町学校給食事業にご理解、ご協力をいただき誠にありがとうございます。

町の学校給食は、手作りにこだわっております。特に9月からは、学校給食センターにより自校式ではなかなか導入できなかったスチームコンベクションや真空冷却器の導入により献立の幅が広がるほか、揚げ物用のフライヤーや食品成型機、電解水生成装置により、4,000食の学校給食を安全安心で安定して提供可能になることなどが特徴です。

また、鎌倉市のオーガニック食材を使用した給食に関する情報提供をいただき、誠にありがとうございます。

町では、この度の完全給食開始に伴い寒川産品の納入を推進してまいりますが、今後も他の自治体の取り組みの情報収集に努め、よい取り組みは取り入れられるよう検討してまいります。

次に、学校給食費の無償化につきましては、子育て施策の一つとして実施している自治体もありますが、給食費は学校給食法に基づき児童生徒の保護者等にご負担いただく必要があると捉えております。

町といたしましては、出産前後のケア、小児医療、保育等の様々な分野において給食費の無償化という個々の政策としてではなく、総合的な取り組みで子育て世代を応援していきたいと考えております。

なお、令和4年度と5年度につきましては、物価高騰に伴う献立への影響を軽減するため、町が食材費の一部補填を行いました。

今後も、町外の方からもよいと思われるような自慢できる給食を提供できるよう努めてまいります。

また、ご指摘のとおり町の魅力を上げることは重要であり、子どもたちにも食育に興味を持ってもらえるよう、町の給食についてお知らせしてまいります。